

# そこで兄弟たち。堅く立って、私たちのことば、手紙によ って、教えられた言い伝えを守りなさい。 Ⅱテモテ2:15

## 2015(27)年 週 報

9月6日

第1聖日

第3420号

「召しにふさわしく歩む」

### 聖 言

さて、主の囚人である私はあなたがたに勧めます。召されたあなたがたは、その召しにふさわしく歩みなさい。エペソ4:1

#### 礼拝の恵み 第二一章 第八節 礼拝の障害(つづき)

この精神は個々の信者に対しても、信者たちの集  
会にたいしても、なんという毒気をふくんでいるこ  
とであろう。この精神が礼拝にとって障害であるこ  
とを主は特に指摘され、そのための救済手段を用意  
された。主は言われた。「だから、祭壇の上に供え  
物をささげようとしているとき、もし兄弟に恨ま  
れていることを思い出したなら、供え物はそこに、  
祭壇の前に置いたままにして、出て行って、まずあ  
なたの兄弟と仲直りをしなさい。それから、来て、  
その供え物をささげなさい。」(マタイ五ノ二三、一二  
四)。仲間の信者に対して、なにか恨みをいだいて  
いる間は、「兄弟を憎む者は、やみの中におり、や  
みの中を歩んでいるのであって、自分はどこへ行く  
のかわからないのです。やみが彼の目を見えなくした  
からです。」(一ヨハネ二ノ一一)。「神を愛すると言  
いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者で  
す。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見え  
ない神を愛することはできません。神を愛する者  
は、兄弟を愛すべきです。私たちはこの命令をキリ  
ストから受けています。」

(一ヨハネ四ノ二〇〜二一)  
(礼拝 ギブス著)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru\_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一五年八月三〇日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「人知を越えたえたキリストの愛」

「人知をはるかに越えたキリストの愛を知ることができまうに。こうして、神ご自身の満ち満ちたさまにまで、あなたが満たされますように。」(エペソ三ノ一九)

**祈り**

昨日は地域の食事にいきました。100人の方々が食事をし、歌や踊りを元気にしておられました。この中からイエス様を信じる方々を起こしてくださいと祈らずにおられませんでした。この地域から救われる方々を続々とおこしてください。

中国株の暴落で世界経済が混乱しています。また中東から欧州に難民が押し寄せて来ています。民族大移動がなされているのです。また、日本ではこの時間に国会前で大規模な抗議集会がなされています。こうした、世界の混乱の序曲を思わされる昨今、こうして礼拝をささげられる特権を感謝します。

教会に人知を越えたキリストの愛が注がれていますが、現実社会の縮図を現わしているといっても過言ではないほど問題だらけです。どこに神の富と偉大さが現わされているのかと首を傾げます。しかし、神様はそんな教会を通してご自身の栄光を現わされているのです。

頌栄は神様の創造の偉大をほめたたえるところにキリストをほめたたえるのです。信者の中に住まわれるキリストのおられる教会を通して神は栄光を現されます。ソロモンが神殿奉献の

神殿が神の雲に満ちて入ることが出来なかった(一列王八

ノ一一)。今は教会の信者の中にキリストが住まわれて、喜びにと賛美に満ちています。それは、富や生命を与えるよりも、すばらしいことです。すなわち教会を通して神様の栄光と偉大がどのような現れているかという、それは地上のいかなる偉大にまして、神が唯一の創造主であられ、御子をこの世にお遣わしになられ、御子が罪人の為に十字架の上で贖いを完成され、三日目によりみがえられ、信じる者に、罪の赦しと永遠の生命を与えてくださいました。この事実を世界に宣べ伝える証人として教会を造られました。「教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。」(エペソ一ノ二三)。

二〇一五年九月二日午後七時 祈祷会 山本牧師

「聖と俗」

「彼が外壁の回りを巡って四方を測ると、その長さは五百さお、幅も五百さおで、聖なるものと俗なるものとを区別していた。」(エゼキエル四二ノ二〇)

エゼキエルが神殿を一巡し終え、御使いは彼を、最初に入って来た外庭の東門へ連れて行き、今度は神殿全体の周囲を測って見せた。神殿全体は正方形で、東側も北側も南側も西側も五〇〇キュビトであった(「五〇〇さお」とあるが七〇訳に沿って「五〇〇キュビト」とする)。この外壁が具体的に「聖なるものと俗なるものとを区別していた」(二一〇)。つまり、聖なる神殿と世俗を区別する境界線だったのである。なぜその中が聖なるものとして区別されているのだろうか。それ自体が特別な材料、特別な構造であるからではない。それは次章であきらかにされるように、その中に主御自身がお入りになるからである。主のおられるところ、そこはどこでも、聖なるところなのです。

は神殿の幻を見ました。神殿の聖なる聖所で聖なる食べ物を聖となつたものだけが食べることができなのです。これは未来の教会とキリストの関係を預言しています。外壁で五〇〇さお四方で囲まれた聖な場所の周りを俗としたごとく、教会は俗社会の中に存在している聖なる場所です。それは、この世に対して、教会をおして、聖なる神様は御自身をあらわさられているからです。

**ゴスペルコンサート**

一〇月二日(月)祝日 昼一時

- 一、司会 山本 稔牧師
  - 二、賛美 萱原 ゆかり姉(ゆかりゴスペル)
  - 三、信仰の体験 西田潔嗣牧師
  - 四、話し 岡山聖成キリスト教会牧師 足達 和章師
- 集会行進案内**
- 食事 午後四時〜午後五時
  - 行進 午後五時〜午後六時前
  - 行進コース 教会↓長田神社↓長田商店街↓高速長田駅前
  - 外の司会 山本牧師
  - 外の証し 西田潔嗣牧師
  - 夕六時
  - 一、司会 足達 和章牧師
  - 二、賛美 萱原 ゆかり姉(ゆかりゴスペル代表)
  - 三、信仰の体験 庄司久子姉
  - 四、話し イエス・キリスト聖成伝道教会牧師 山本 稔師

**伝道予算**

講師費・・・・・・・・・・七万五千元  
 宣伝費・・・・・・・・・・二万円  
 準備費・・・・・・・・・・一万五千元  
 合計・・・・・・・・・・二万円  
 乞う祈禱と協力。牧師・役員一同